

2026.9.9

ぐんま森林経営管理サポートセンターで、村産木材を含む県産材がふんだんにあしらわれた KAWBA BASE 川場村役場を訪問しました。

川場村では、村の観光シンボルである道の駅かわば田園プラザの後背地である後山を重点的地区として、意向調査と境界明確化を進め、森林整備を実施しています。

川場村の取組の特徴は対象森林所有者と経営管理集積計画でなく、村との森林整備協定により、村単事業として森林整備を施工しているところです。

川場村では県内林業団体に活躍されてきた、村出身のベテラン林業技師を林政アドバイザーとして雇用されており、培かれた技術経験と地縁を活かした所有者折衝力等により、ここまでの森林経営管理業務が円滑に進められてきました。

その林政アドバイザーI 氏の目下の課題は、今年度の異動で森林環境係の担当となった 20 代若手職員の後継者としての育成とこのことで、林業林政独特のテクニカルタームや図面や森の見方等ノウハウ習得について、サポートセンターからも支援指導いただければと、リクエストをいただきました。

